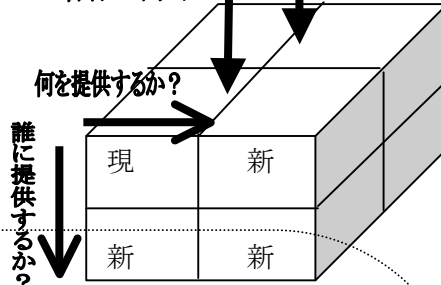


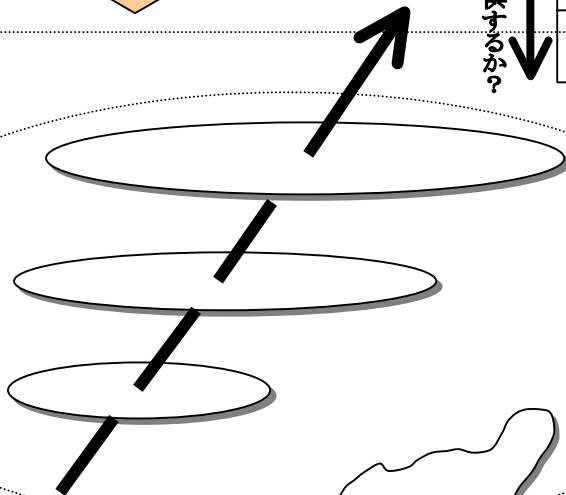
# 課題の高さ共有しよう！

●働くこと、生活すること・・・その課題を数値で示そう。それがないと、必要努力の程度や優先順位が共有できない。

お客様は島外！  
お客様は島内！



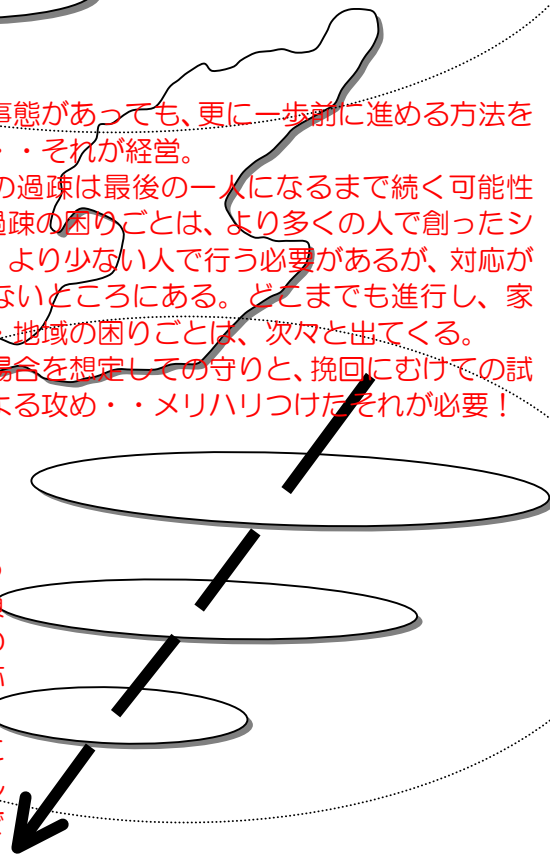
攻めのシステムを創ろう！



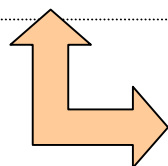
●楽しい生活も働くがあってこそ・・・しかし、佐渡の産業再生は一発逆転は無理！  
●試行錯誤をしよう。キーワードは・・・犬棒カルタ方式、数打ちちゃ当たる方式！

●最悪の事態があっても、更に一歩前を進める方法を用意する・・・それが経営。  
●佐渡島の過疎は最後の一人になるまで続く可能性がある。過疎の困りごとは、より多くの人で創ったシステムを、より少ない人で行う必要があるが、対応が間に合わないところにある。どこまでも進行し、家庭・企業・地域の困りごとは、次々と出てくる。  
●最悪の場合を想定しての守りと、挽回にむけての試行錯誤による攻め・・・メリハリつけたそれが必要！

守りのシステムを創ろう！



●ドンドン人数が少なくなっても・・・例えば、家庭の介護負担増、企業の売上減少、集落の共同作業負担増・・・これに対応できる途を創ろう。  
●キーワードは・・・もっと楽にできる方法、裏腹になるヤメルことの決断、基準は自主自律できないものは存在できない！...だ。



# 攻守のメリハリつけよう！

●なんとか振興？かんとか活性化？・・・積極的なイメージがあるが、その殆どは、その活動が無くなれば更にダメになるという守り・・・守りの活動と攻めの活動は明確に分けてあたりよう！